質問通告書

次の件について質問の通告をいたします。

令和6年11月13日

質問者氏名 塚原正彦

牛久市議会議長 殿

一般質問	○	一括方式
------	---	------

質問事項	要旨
食と環境をきっかけに人々の学びを地域社会で循環させる公立大学院大学の設置を提案する うしくフードテックプロジェクト その2	<p>いま、地域再生の切り札として、自治体が設置する公立大学を設置する取り組みが注目をされている。大学は、若者を集めることができ、若者が地域社会で活動するためはたらきかけができ、自治体と大学が連携することで、新しい産業を創造するためのプログラムを展開できるからである。</p> <p>最高学府である大学は、専門研究者と情報が集まる知の拠点で、学位認定と履修証明をだし、「学びの履歴」を記録することができる。「学び」を地域社会に循環する仕組みをつくることのできる可能性を持っているからである。</p> <p>自治体が創設する公立大学は、地域社会の情報拠点として、リカレント、リスキリングを果たす人材センターとして重要な役割を果たすことのできる唯一無二の存在で、いまの行政ではできないシンクタンク機能とプロデュース力をもった新たな事業主体になる可能性があるからである。</p> <p>地域の新しい産業を創造すると同時に地域社会に学ぶ意欲をひきだし、「学び」を循環する仕組みを構築するための基幹装置として食と環境をテーマにした大学院大学の創設について調査研究を提案するがその考えをうかがう。</p> <p>※近年増大にする公立大学 現在、少子化に直面している我が国では、募集停止、閉校する私学が増大している。その一方で、新しい知と産業の創造を目的とした</p>

	<p>未来志向の公立大学が次々に誕生している。岩手県北上市、三重県四日市市、愛媛県新居浜市などが新規開設を構想しており、長野県千曲市は、私立女子大と連携し農学部を創設する事業が展開している。</p>
--	---